



企画展 開催のお知らせ

# 発掘された日本列島2026

令和8年6月13日（土）～7月26日（日）

[企画展]  
**発掘された日本列島**

同時開催  
地域展  
掘り出された祈り—瘡守稲荷信仰のかたち—

The Spirit of Edo  
**Edo Tokyo**

本展は常設展（大塚分館・自然史館）

令和8年  
常設展観覧料でご覧いただけます。  
**6月13日（土）～7月26日（日）**

東京都江戸東京博物館 常設展示室内 5階企画展示室

開館時間：午前9時30分～午後5時30分（土曜日は午後7時30分まで）入館は開館の30分前まで

休館日：毎週月曜日・7月21日（火）※7月20日（月）～21日（火）は休業

主催：文化庁、東京都、東京都江戸東京博物館（公益財団法人東京都歴史文化財団）、  
全国新聞社事業協議会、東京新聞

協賛：全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、  
公益財団法人元興寺文化財研究所、共同通信社

後援：全国史跡整備市町村協議会

Retto Ten  
2026  
研究調査最新集

EXHIBITION OF EXCAVATIONS IN THE JAPANESE ARCHIPELAGO

江戸東京博物館  
EDO-TOKYO MUSEUM

全国で毎年約 8,000 件の発掘調査が実施されていますが、その成果に実際に触れる機会は、極めて限られています。このため「発掘された日本列島」は、近年発掘調査が行われた中で特に注目された出土品を中心とした展示を構成し、全国を巡回することにより、多くの方が埋蔵文化財に親しみ、その保護の重要性に関する理解を深めることを目的として開催されています。リニューアルオープンを経て、江戸東京博物館での開催は約5年ぶりとなります。様々な考古遺物を通して、各地の発掘調査の成果をご紹介します。

## 展覧会概要 ●●●●●●

- 展覧会名 企画展「発掘された日本列島2026」
- 会 期 令和8年6月13日（土）～7月26日（日）
- 開館時間 午前9時30分～午後5時30分（土曜日は午後7時30分まで）入館は閉館の30分前まで
- 休館日 毎週月曜日・7月21日（火） ※7月20日（月・祝）は開館
- 会 場 東京都江戸東京博物館常設展示室内 5階企画展示室  
（〒130-0015 東京都墨田区横網一丁目4-1）
- 観覧料 **企画展は常設展観覧料でご覧になれます**  
一般800円（640円）／65歳以上400円（320円）／大学生・専門学校生480円（380円）  
高校生300円（240円）／中学生以下 無料  
※（ ）内は団体（20名以上）  
※常設展観覧料の免除または割引については当館公式ウェブサイトを参照ください。
- 主催等 **【主催】**文化庁、東京都、東京都江戸東京博物館（公益財団法人東京都歴史文化財団）  
全国新聞社事業協議会、東京新聞  
**【協力】**全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、  
公益財団法人元興寺文化財研究所、共同通信社  
**【後援】**全国史跡整備市町村協議会
- 地域展 **【主催】**東京都、東京都江戸東京博物館（公益財団法人東京都歴史文化財団）

## 展示構成 ●●●●●●

- 我がまちが誇る遺跡
- 新発見考古速報
- 特集 遺跡から読み解く多様な歴史文化
- 特集 キッズ考古学新聞コンクール

## 主な資料 ●●●●●●

- 史跡香坂山遺跡（長野県佐久市）

大型石刃、小石刃、尖頭方形剥片等



国武貞克氏・佐久市教育委員会/所蔵

- 西岩田遺跡（大阪府東大阪市）

木製仮面



公益財団法人大阪府文化財センター/所蔵

●天王森古墳（山口県下松市）

大刀形埴輪



下松市/所蔵

●天竜遺跡（群馬県東吾妻町）

銅鉢



公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団/所蔵

小川忠博氏/撮影

関連事業 ●●●●●●

●えどはくカルチャー

- |      |  |
|------|--|
| 講座名  | 企画展「発掘された日本列島2026」の見どころ                |
| 日時   | 令和8年7月10日（金） 午後2時～午後3時30分              |
| 講師   | 田中 龍一（文化庁 文化資源政策・記念物課 文化財調査官）          |
| 会場   | 江戸東京博物館1階 大ホール                         |
| 参加料  | お一人様1,000円（現金のみ）※常設展観覧料は別途必要           |
| 申込方法 | 申込締切 7月1日（水）。<br>詳細は当館公式ウェブサイトを参照ください。 |

<同時開催>

企画展 発掘された日本列島2026 地域展

## 掘り出された祈り—<sup>かさもり</sup>瘡守稻荷信仰のかたち—

令和5(2023)年度に東京都埋蔵文化財センターにより発掘調査が行われた文京区原町西遺跡では、大量の土玉(土団子)とかわらけ(土器皿)が出土しました。江戸時代は、瘡守稻荷での病氣平癒祈願の際、土玉をかわらけに盛って奉納し、願いが叶いお礼参りには米で作られた白い団子を捧げました。今回の発掘調査では、神前に捧げられ一定量になった際に廃棄された土玉とかわらけが積み重なった状態で出土したものと考えられます。

本展では、土玉やかわらけが出土した土層断面の剥ぎ取り資料を中心に、当時の瘡守稻荷に関する文献や錦絵・版本挿絵などの図像資料を展示し、考古資料と文献・図像資料の双方から、瘡守稻荷信仰の実態をご紹介します。

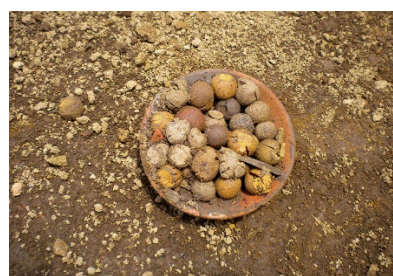
### 主な資料 ●●●●●●

●原町西遺跡 土層断面の剥ぎ取り



公益財団法人東京都教育支援機構  
東京都埋蔵文化財センター/提供

●原町西遺跡 出土した土玉とかわらけ



東京都教育委員会/所蔵

●土玉とかわらけが出土した原町西遺跡2号遺構



パネル展示  
東京都教育委員会/画像提供

●浮世美人寄花 笠森の婦人 卯花(鍵屋お仙)



東京都江戸東京博物館/所蔵

当企画展に関するお問い合わせに関するお問い合わせ

東京都江戸東京博物館 事業企画課 展示事業係 担当：鈴木(彩加)、小酒井  
〒130-0015 東京都墨田区横網一丁目4番1号 電話：03-3626-9974